

フォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

「がん」になっても自分らしく生き抜くために。

治療の副作用や、がんを抱える悩みに寄り添う「支持療法」や「緩和ケア」があります。

診断時から始まる“さまざまな苦痛”を和らげることが、治療そのものに効果があることも分かってきています。

フォーラムでは最新の医療情報を交えながら、がんと生きる本人、そして医療者とともに語り合います。



題字/延 哲也
イラスト/マルシェル

参加者募集中

日時: 2017年 **1月21日** (土)

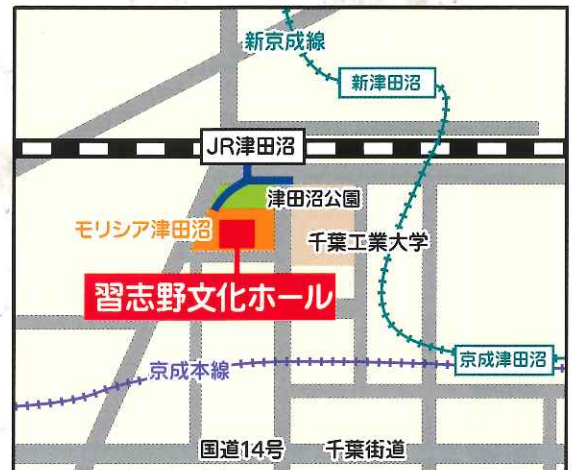
開場: 午後0時30分 開演: 午後1時 終演: 午後3時45分 (予定)
※途中休憩あり

会場: **習志野文化ホール 4階**

住所: 千葉県習志野市谷津1-16-1

定員: **800名** **参加無料** 事前の申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

- 交通
- JR『津田沼駅』南口から徒歩約4分
 - 新京成線『新津田沼駅』から徒歩約10分
- ※公共交通機関をご利用ください。



主催 ● **NHK** 厚生文化事業団 **NHK** エンタープライズ 読売新聞社

後援 ● **NHK** 千葉放送局 厚生労働省 千葉県 習志野市 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 社会福祉法人習志野市社会福祉協議会 公益社団法人千葉県医師会 一般社団法人千葉県歯科医師会 一般社団法人千葉県薬剤師会 公益社団法人千葉県看護協会 千葉県がん診療連携協議会

特別協賛 ● **ツムラ** 協賛 ● **アテランス**

出演者プロフィール

基調講演

きたじま まさき
北島 政樹

国際医療福祉大学 副理事長・名誉学長
慶應義塾大学 名誉教授

慶應義塾大学医学部卒業。Harvard Medical School, Massachusetts General Hospitalに2年間留学。元慶應義塾大学病院院長、同大医学部長。第100回日本外科学会会長、第42回万国外科学会会長、日本癌治療学会理事長、日本コンピュータ外科学会理事長、日本内視鏡外科学会理事長、国際消化器外科学会会長のほか、世界最高峰の医学雑誌「New England Journal of Medicine」の編集委員を務めるなど国内外で活躍。ハンガリー・センメルweis大学名誉医学博士、ポーランド・ヴロツワフ医科大学名誉医学博士。これからのがん医療は常に患者さんの視点でみるのが重要であり、低侵襲・個別化医療とチーム医療がキーワードになると考えている。

パネルディスカッション

小澤 壯治 おざわ そうじ

東海大学医学部医学科外科学系 消化器外科学 領域主任教授

1981年慶應義塾大学医学部卒業。1984年同医学部外科助手。1988年米国ニューヨーク州立大学バッファロー校に留学。慶應義塾大学医学部外科講師、藤田保健衛生大学医学部外科学教授を歴任し、2009年東海大学医学部消化器外科教授。現在は領域主任教授。専門は消化器（特に食道・胃）疾患の診断・治療、内視鏡下手術、外科腫瘍学。術前から術後に至るまで多職種に依るチーム医療で支えるとともに標準治療を中心に患者一人一人の生活環境に応じた治療戦略を実践している。2014年から厚生労働省保健医療専門審査員。

坂本 はと恵 さかもと はとえ

国立がん研究センター東病院 副サポーターケアセンター長

精神科クリニックと国立がんセンター中央病院での勤務を経て、2004年9月に国立がん研究センター東病院に異動、患者・家族支援相談室の立ち上げに携わる。2014年4月にサポーターケアセンター/がん相談支援センターに組織改組、2016年4月より副サポーターケアセンター長。がん患者の相談支援に従事する傍ら、がん患者の治療と仕事の両立に関する研究に力を注いでいる。認定医療社会福祉士、日本医療社会福祉協会理事。

西口 洋平 にしくち ようへい

がん当事者、キャンサーヘアレンツ代表

1979年生まれ、大阪府出身。一児（8歳）の父。2015年2月にステージ4の「胆管がん」として告知され、そのときに強烈な孤独感を感じる。「仲間がいない、話し相手がない、同じ境遇の人が周りにいない」という当事者としての想いから、インターネット上のピアサポートサービス「キャンサーヘアレンツ」を2016年4月に立ち上げ、リリース半年で会員数が400名を超える。現在も抗がん剤による治療を続けながら活動を続けている。

天野 慎介 あまの しんすけ

全国がん患者団体連合会 理事長

2000年（27歳）のときに血液がんである悪性リンパ腫を発症。化学療法、放射線療法などの治療を受け、2度の再発を経験する。自身の経験をもとにがん患者支援活動に関わるようになり、2006年より悪性リンパ腫全国患者会「グループ・ネクサス」理事長。2009年から2期4年にわたり厚生労働省「がん対策推進協議会」会長代理を務め、国の「がん対策推進基本計画」策定に患者の立場から参画。2015年よりがん患者団体の連合体組織「全国がん患者団体連合会」理事長。

丹藤 昌治 たんとう まさはる

厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 がん対策推進官

1996年京都大学工学部卒業。2004年広島大学医学部卒業。臨床研修終了後、厚生労働省に入省。本省では、科学技術振興、臓器移植対策、原爆被爆者対応、診療報酬改定等に携わる。また、環境省で環境リスク評価、鳥根県で地方行政、国立国際医療研究センターで感染症や糖尿病研究の推進に関わるなど、医療行政全般に携わる。2016年4月より現職。がん対策のみならず、循環器疾患、アレルギー疾患、腎疾患、糖尿病など疾病対策全般を担当する。

町永 俊雄 まちなが としお

コーディネーター

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに

1. 名前(必ず個人名を記入) 2. 郵便番号・住所 3. 電話番号 4. 参加人数

5. ご一緒に参加される方の名前(複数名の参加を希望される場合) を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「フォーラム がんと生きる 千葉」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いないようお願いいたします。

ホームページ <https://www.npwo.or.jp/>

定員になり次第
締め切ります

※当日の入場は『入場整理券(1枚で1人入場可)』が必要です。2017年1月中旬頃より順次、希望人数分を封書でお送りいたします。
※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤り及び記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合があるので、ご注意ください。
※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

フォーラムがん と生きる 千葉	ふりがな	参加人数	< ご一緒に参加される方の名前 >
	名前 ※必ず個人名をご記入ください。	人	
	住所 〒 ※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。		
	電話番号		

お問い合わせ **NHK厚生文化事業団 TEL 03-5728-6633** (平日 午前10時~午後6時)

※2016年12月29日(木)から2017年1月3日(火)まで年末年始休業とさせていただきます。